

赤山公園

ここが赤山丘と呼ばれています。その上には、国の登録有形文化財に指定されたなごみの塔が建っています。かつては塔の上から集落の方々へ連絡事項を伝える放送台として使われていました。近年は塔の上から島が一望できるので、展望台として観光名所にもなっていました。しかし、塔が建てられて60年以上が経っているため、老朽化で安全が確保できないために、2016年から上り下りが禁止されています。しかしここを赤山公園とも呼んでいます。ここには昔星を観測するために使っていた星見石や叩くと音が出る太鼓石、また小さな子供たちを遊ばせていて、大きくなったら馬に乗れるような立派な大人になるんだよ、と期待を込めて乗せた石馬などがあります。こうした文化的にも貴重な場所となっています。また塔の足元から見る竹富島の街並みは沖縄県で初めて国の伝統的建造物群保存地区に選定された町並み保存地区です。赤瓦の屋根、屋根の上には、いろんな表情を持つシーサーたち、白い砂の道、サンゴの石垣、色鮮やかな花々、こういった沖縄の原風景を見ることができます。また島のお年寄りは朝が早く薄暗いうちからほうきを持って白い砂の道に箒目を入れながら島を掃き清めます。何百年も変わることなく続いた朝の風景を感じることができます。島には竹富島憲章が制定されています。売らない、汚さない、乱さない、壊さない生かす。という5つの基本理念を掲げて島人自らの町並みを守って、そのおかげで今も変わらず、この風景をみることができます。